



公式通知 No. 1

発行日時 ; 2017年 8月20日18:30	文書番号 ; 1. 0 1
宛 先 ; 全参加者	ページ数 ; 1
発行者 ; 組織委員会	添付資料 ; なし
発行内容 : ドライバースブリーフィング資料	

1・試走について

試走車の距離補正は、高速道路の距離標識 10Km間で補正を取り、距離標識と補正係数1にして試走しています。事前に高速道路距離にて補正を取られる事をお勧めします。
ルート上にも、OMCP は設定しています。

2・試走時における走り方等

指示書記載の車両、タイヤは一般ラジアルタイヤ 6 部山 空気圧 冷間時 2.1Kg/m² にて走行。
アベレージ走行はしていませんが、概ね指示書のアベレージ前後のスピードにて走行。極端なラインでの走行や、コーナーにて極端なコーナリングはしていません。一般車の走り方と考えます。

3・コマ図における距離と、正解表の距離は同様です。メーター単位までの区間距離で正解を出しています。

4・コマ図の計測点で、停止線がある場合は、停止線。ない場合は、ハンドル切り始め、またはコマ図記載の目標物になります。

5・コマ図の無い交差点は、道なり走行をしています。優先順位は、道の広さが同じ方向、角度の緩い方向、路面形状の同じ方向(舗装から舗装、ダートからダート)です。

6・中継地点の駐車場にトイレがありません。その前後の時間走行区間に公衆トイレとコンビニがありますので、必要に応じてそちらを利用してください。コンビニ利用の場合は、何か買ってください。
時間走行区間は、アベ30km/hで 5 分程度の余裕があるように設定しています。流れに沿って走ればそれ以上とれると思います。遅れた場合は、レスコンカードで対応してください。無理な暴走はしないこと。

7・山道の走行区間が、相当あります。大半の道はすれ違い可能です。一般車の走行を制限していませんので、先の見えにくいコーナー等での出会いがしらの事故等に十分気をつけてください。
基本的には一般車を優先して走ってください。

8・NoCP 区間の、終わり距離の所に、必ずしも十分な路側がない場合があります。少し手前で時間調整をする等、一般車の邪魔になるような所での時間調整はやめてください。

9・チェックラインの手前での、あからさまな時間調整や停車については、ライン上でなくとも計時いたしません。